

公益社団法人滋賀県社会福祉士会 2016年度 事業報告

1 総括

滋賀県社会福祉士会は公益社団法人に移行して4年が経過しました。また、日本社会福祉士会の連合体組織（社会福祉士個人の会員組織から47都道府県社会福祉士会の会員組織）への移行に伴い、各県士会に、権限の移譲や主体の形成が行われて5年が経過しました。

こうした流れは、分権型社会への対応の観点からも必然的なものではあるものの、パラダイム転換には大きなエネルギーを必要とします。本会の会務内容をここ4～5年前と比較してみましても、所掌事項は、量的・質的に増加・高度化し、会務環境は大きく様変わりしました。主なものとしては、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施、成年後見関係事件の受任案件の増加、公的機関等からの委託事業等への取組み、多職種・多機関とのネットワーク化、事務所移転などがあげられますが、その分、本会の社会的認知度も大幅に高まってきたと言えます。

ようやく激動期を乗り越えたのではとの思いですが、更なる発展に向けてのチャレンジや適切なマネジメントが必要です。

今後は、「第2期将来構想5か年計画（中期経営戦略6本柱）」（2年目）のもと、ソーシャルワーク実践に寄与できる座標軸を身につけながら、諸課題の解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

さて、以下のとおり、2016年4月1日から2017年3月31日までの本会のこの1年間の運営ならびに事業の実施状況を総括し報告します。

特筆したいことは色々ありますが、先ず、人事面ですが、かねてから懸案であった常勤の事務局長の確保については、会員の皆様のご理解とご協力のもと、漸くその適材確保が実現いたしました。

次に、事業面ですが、新規事業のみの成果をみてみますと、以下の通りです。

○全国初、無戸籍者支援への取組み（新規）

無戸籍者を支援するため、平成28年10月7日から、滋賀県は都道府県で初めてとなる専用相談窓口を本会に設置しました。これまで案件ごとに縦割りだった無戸籍者からの相談を一括して受け入れることで、きめ細かい対応を行うものです。

市町との連携のもと、専用の電話番号を設け、毎金曜日に、無戸籍者の生活に関する様々な相談に応じる体制を整えています。

○滋賀県との共催、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修の実施（新規）

地域包括支援センターで高齢者虐待対応を担当する初任者職員および市町職員を対象に、「養介護施設従事者等による高齢者虐待」に対する対応の標準化を目指して、6月下旬～7月上旬にかけての3日間の研修を滋賀県との共催、高齢者・障害者虐待対応支援ネットの専門職チーム等の講師編成により実施しました。年度後半には某市内で発生した養介護施設従事者による高齢者虐待事案に研修成果が活かされるなど実施時期・内容ともに効果的であったと言えます。

○成年後見人養成研修（委託集合研修）の実施（新規）

認知症高齢者等の大幅な増加、成年後見制度の普及等とともに、成年後見人の需要は近年ま

すますます高まっています。平成28年、県内における成年後見関係事件（後見開始、保佐開始、補助開始及び任意後見監督人選任事件）の申立件数（大津）は466件と全国水準（34,249件）よりも高く、第三者後見人の選択も増加傾向にあります。

こうしたニーズに応えるため、これまで、他の県士会に依存していた成年後見人養成研修を本会が初めて実施した結果、本会会員を中心に68名が修了しました。

区分	ばあとなあ会員数	受任件数
2016年2月報告	78名	258件
2017年2月報告	141名	306件
増減	63名増	48件増

次に、会計面では、会費収入が主財源ですので厳しさは変わらないものの、滋賀県や県社協からの委託事業等による特定財源の確保が会務の充実・推進にもつなげることができました。

また、会費収入に関連して、会員数はここ数年増加傾向にあり、ほぼ500名近いところまで会員数が増えてきました。

また、会計面での特筆事項として、理事会の議決により、県民の方（故人）から大口寄付（金11,451,594円、2016年7月29日受）を採納しましたので会員の皆様に報告いたします。

最後に、役員改選より6月から新体制となりますが、一層、会員の皆様に親しまれ、一人ひとりの会員の拠り所となれるよう、各種事業やブロック活動の推進、広報紙”はと・めーる”の発行等を通じて会員相互の顔の見える関係づくりを一層進めるとともに、新規入会者も積極的に募り、楽しく会員が一丸となれるよう頑張りたいと思います。

そして公益社団法人、職能団体として、県民の皆様からの信頼に応えられるような本会活動に向けて役員一同頑張っていますので、会員の皆様の一層のご参画と、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

2 事業報告

【公益事業】

1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

(1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターばあとなあ滋賀」（以下「ばあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図った。また、「ばあとなあ活動報告書チェック支部委託事業」により、ばあとなあ滋賀会員の後見活動のチェックを行った。その他、日本社会福祉士会が実施した都道府県ばあとなあ連絡協議会にばあとなあ滋賀運営委員2名を派遣し、各都道府県のばあとなあの情報交換、全国的な後見実務の情報交換を行った。

①ばあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

ア. 後見活動の実施

2016年度下半期時点（2月報告時点）でばあとなあ滋賀会員141名、後見214件、保佐70件、補助18件、任意後見4件、監督0件、あわせて306件を受任（昨年度同時点で258件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をばあとなあ活動報告

書チェックにてチェックするとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ質問、情報交換を行っている。

今年度、養成研修を実施した関係で、ぱあとなあ滋賀会員数が大幅に増加したことから、地区毎に顔合わせの機会を設け、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めた。

イ. 定例会の開催 毎月第2土曜日に実施

定例会においては、(あ) 受任推薦についての透明性の確保…家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有、受任者の公募、(い) ぱあとなあ滋賀会員のフォロー…後見実務の質問や情報交換、(う) 実務的な内容の研修による会員の後見活動の質の向上を主な内容としている。今年度においては、下記のとおりの内容にて毎月概ね1時間程度の研修を実施した。

- 4月 これから後見業務をおこなう皆様へ(小川)
 - 5月 医療制度における助成等について(外部講師・彦根中央病院MSW古田様)
 - 6月 未成年後見について(小西会員・村松会員・小川)
 - 7月 後見制度支援信託について(小川)
 - 8月 後見実務についての情報交換(財産管理関係)(グループワーク)(小川)
 - 9月 虐待防止法について(桐高会員)
 - 10月 虐待防止法上について2(小川)
 - 11月 成年後見円滑化法に基づく民法及び家事事件手続法改正について(小川)
 - 12月 任意後見等契約の契約時における留意点について(小川)
 - 1月 生活保護制度の基礎について(小川)
- (2月は養成研修を終えた新規会員が参加した為、地区毎に会員の顔合わせ)
- 3月 これから後見業務をおこなう皆様へ・就任直後の実務について(小川)

ウ. 運営委員会の開催と体制整備

地区担当者及びぱあとなあ担当理事が運営委員となり、毎月定例会前に運営委員会を開催した。運営委員会では、ぱあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項を検討した。また、ぱあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の機関からの苦情等がある場合等にその対応について協議を行った。さらに、そのようなぱあとなあ会員の後見活動について、必要な場合は運営委員複数で当該会員の面談を実施し、課題の洗い出し、意見聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施した。各種規約の策定については、一定検討を行ったが来期へ持ち越すこととなった。

運営委員長(担当理事)小川 学

<地区担当運営委員>

湖東北地区	澤和子、山内克仁
湖南地区	竹村直人、小笠原美幸、西川妙子
湖西地区	町野ひろ子、吉原正栄
東近江地区	中嶋久仁子、石山久子
甲賀地区	木下道生、木村真由子

エ. 関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣、電話相談の実施

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備した。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がなされている。地域のニーズに応えること及び相談対応をおこなった会員の質の向上並びに他専門職とのネットワークの構築を目的として、定例会にて人員を広く募り、積極的に会員派遣をおこなった。

オ. 成年後見人養成研修の実施

日本社会福祉士会委託研修の受託をし、成年後見人養成研修を県内で実施を行った。県内を中心に68名が研修を修了した。成年後見制度に興味を持ち、知識を得

ようとしている社会福祉士が増加していることが数字にも表れたと考えられる。また、現状ではばあとなあ滋賀では受任のマンパワーが限界にきている地区が多くあることから今後、研修修了者から多くの良い人材がばあとなあ滋賀に加入することを見込んでいます。

②県民講座の実施

県民のための成年後見制度活用セミナーの実施

2017年3月4日、浜大津明日都にて上記セミナーの実施を行った。企画運営については、湖西圏域のばあとなあ滋賀会員の中から、有志で行った。今回は「障害者の権利擁護について」をテーマに、当会中川英男会員の基調講演と、以下の方々によるシンポジウム「それぞれの立場からみた成年後見制度」が実施され、33名の参加者があった。

(シンポジスト)

滋賀県立近江学園園長	植田重一郎氏
東近江圏域働き暮らし応援センター	浅井智久氏
大津障害者虐待防止センター	越野緑氏
大津保護区保護司	北井和子氏
(コーディネーター)	当会会員 中川英男会員

(2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

①専門職チームの概要

2009年より滋賀弁護士会とともに「滋賀県高齢者虐待対応支援ネット」を設置し、地域包括支援センターでの困難事例への相談対応や、虐待対応ケース会議での相談対応など高齢者に対する権利擁護事業に対して支援を行ってきた。

2012年10月施行された障害者虐待防止法に対応するため、「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」として改め、専門職チームとしての専門性の研鑽をはじめ、県や市町に対して支援ネットを活用した権利擁護体制整備の必要性の広報、研修会等へのアドバイザーの派遣など、支援体制の強化等に取り組んでいる。

②活動実績

2か月に1回、専門職チームに所属している弁護士及び社会福祉士が、専門職チーム運営上の課題について協議等を行っている。今期は5月11日、7月6日、9月7日に実施。

今後、行政は勿論、県民や各種団体・機関においても、権利擁護に関する体制強化や意識高揚のニーズが一層高まることが予測される。このことから、権利擁護に関する情報の収集・発信、未契約市町への広報活動の強化、専門職チームとしての体制強化と資質の向上に努める必要がある。

<契約先市町の状況>

2016年度契約市町(10市2町)

・高齢者・障害者の契約市町

高島市、愛荘町、守山市、栗東市、湖南市 草津市、甲良町、甲賀市、近江八幡市
※昨年度まで契約していた彦根市は、別途虐待対応のスーパーバイズの仕組み(NPO法人あさがお権利擁護センターへの支援を導入)を作られ、契約は更新しなかった。近江八幡市は今年度から障害に加え高齢も契約した。

・高齢者のみ 長浜市、野洲市、米原市

<ケース会議等への派遣回数>

・長浜市2回、米原市2回、彦根市1回、高島市18回、愛荘町4回、近江八幡市4回、野洲市4回、守山市1回、栗東市1回、湖南市4回、草津市19回、甲賀市0回、甲良市0回

<研修等の実施状況>

・「高齢者、障害者 虐待対応支援ネット研修会」を開催

開催日時：2016年10月22日
会場：滋賀弁護士会館
講師：宮原務弁護士
参加者：弁護士会7名、社会福祉士会10名

(3) 地域包括支援センターの機能強化に向けた支援

①養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修

2016年6月23日、6月27日、7月5日の3日間に渡り、市町・地域包括支援センターの現任者、他の虐待対応協力者・関係機関職員、高齢者虐待対応専門チームと登録者等向けに開催した。

場所：1日目、2日目・・・コラボしが21 3階中会議室1
3日目・・・コラボしが21 3階中会議室2

高齢者虐待防止法の基つき、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の理解から初動期、対応期、評価期における手順を帳票を用いて学習、演習事例を実践で学んだ。

受講者：27名

講師：宮原弁護士、澤会長、足立会員、中原会員、村田会員

②滋賀県地域包括支援センター機能強化支援事業

ア 滋賀県地域包括支援センター連絡会議

開催日時：2016年6月15日(水) 14:30~17:15

場所：滋賀県庁東館7階大会議室

受講者：62人

目的：

改正介護保険制度により地域包括ケアの中核となる地域包括支援センターは、これまでの高齢者総合相談に加え、在宅医療・介護連携・認知症対策・地域ケア会議の開催、生活支援・介護予防への取組等より一層機能強化が求められている。このため、滋賀県内の地域包括支援センターが一堂に会し、現状や課題等を共有するとともに、目指すべき方向について相互に研鑽し合い、それぞれの実践に資することを目的とする。

プログラム：

1. 包括実態調査の概要報告
2. 基調講演・「地域包括ケア構築に向けた、地域ケア会議の重要性を学ぶ」
講師・・・塚本鋭裕先生
3. グループワーク
4. 情報提供その他

イ 地域包括支援センター機能強化検討会

・第1回開催 日時：2016年5月20日 13:00~15:00

開催場所：フェリエ南草津小会議室6 参加者13名

：永田先生、滋賀県医療福祉推進課介護保険室長竹元氏、同課山本氏、
圖司委員、藤川委員、平田委員、古谷委員、菅原委員、村松委員、
清水委員、川崎委員、澤会長、事務局村田

・第2回開催 日時：2016年10月14日 13:00~15:00

開催場所：滋賀県大津合同庁舎6階会議室 参加者9名

：永田先生、滋賀県医療福祉推進課介護保険室長竹元氏、同課山本氏、
藤川委員、平田委員、菅原委員、村松委員、澤会長、事務局村田

・第3回開催 日時：2017年2月23日 13:30~15:30

開催場所：フェリエ南草津小会議室3A 参加者8名

：永田先生、滋賀県医療福祉推進課介護保険室長竹元氏、同課山本氏、
藤川委員、平田委員、古谷委員、澤会長、事務局村田

ウ 地域包括支援センター職員等研修会(全体研修)

開催日時：2016年9月27日 13:00~16:30

開催場所：草津総合病院9階 あおばなホール

テーマ : 『個の課題を地域の課題に～地域の対話力を引き出し育む I P E 演習～』
受講者 : 40名
講師 : 同志社大学 野村裕美先生

エ 地域包括支援センター「アドバイザー派遣研修」

① 湖北ブロック研修

実施日 : 2016年11月28日(月)
会場 : 長浜市湖北支所大会議室
講師 : 塚本鋭裕 先生
テーマ : 「地域ケア会議のためのネットワークづくり」
～委託型包括の課題と組織の連携・体制づくり～
参加者 : 26名

② 湖東ブロック研修

実施日 : 2016年12月6日(火)
会場 : 彦根勤労福祉会館たちばな大会議室
講師 : 寺本紀子 先生
テーマ : 「地域包括ケア推進に向けた地域との関係づくり」
～地域ニーズの把握や他職種・住民との連携について～
～包括の自己評価と改善に向けた取組みについて～
受講者 : 31名

③ 甲賀ブロック研修

実施日 : 2017年1月13日(金)
会場 : 甲賀市共同福祉施設(サントピア水口) 教養文化室
講師 : 塚本鋭裕 先生
テーマ : 「新しい地域包括支援体制の構築について」
受講者 : 8名

(4) 子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行なうとともに、子ども家庭福祉の推進に向けた活動を行なった。

① 子ども家庭支援委員会

1. 2016年7月9日 委員会運営打ち合わせ(コミュニティーセンターやす)
2016年度の活動について担当理事等で確認

② 子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催

1. 第1回子ども家庭支援研修会 参加者 22名

開催日 : 2016年12月18日(日)

会場 : 守山平和堂4階樂修院C教室

内容 : 第1部 研修 『子ども家庭福祉分野で働く社会福祉士に求められる役割』
講師 野田正人先生(立命館大学教授)

第2部 実践交流 同じ児童領域で働く社会福祉士がそれぞれの立場で交流を深めた。

第3部 懇親会 今後の委員会の取組みについて検討を行なった。

(5) 無国籍の人への相談窓口設置の実施

① 6月20日 連絡会議設立(大津地方法務局、滋賀弁護士会、滋賀医師会等関係団体・機関)

② 8月24日 市町担当者や関係機関に対する研修会実施

会場 : 県庁北新館5階5-B会議室

講演 : 「明石市における無戸籍者支援について」

講師 : 明石市市民相談室 課長 村山由希子氏

③ 9月12日 第2回連絡協議会

④ 10月7日～毎週金曜日に滋賀県長寿社会福祉センター内で相談窓口を設置し、無戸籍者の抱える生活上の深刻な課題解決を図った。

開設日 : 延べ24日(10時～15時)

電話相談 : 2件

出前訪問：2016年11月24日 長浜市役所・法務局長浜支局
 ⑤その他 検討会開催3回、啓発物（ポスター・チラシ・カード・三つ折パンフ等の印刷）

2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

(1) 社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

ア 制度政策委員会

滋賀県地域福祉施策検討委員会（事務局：県社協）に委員として澤会長が参画し、滋賀県に対する社会福祉施策・制度に関する要望を行った。

なお、当初計画していた学習会や課題検討には着手できなかった。

①滋賀県地域福祉施策検討委員会への参画

[第1回]

開催日：2016年6月6日（月）

会場：県立長寿社会福祉センター

[第2回]

開催日：2016年6月30日（木）

会場：県立長寿社会福祉センター

[第3回]

開催日：2016年9月2日（金）

会場：県立長寿社会福祉センター

②県議会各会派への要望

[自由民主党]

開催日：2016年10月21日（金）

会場：県庁2階 議員室

[チームしが]

開催日：11月14日（月）

会場：県庁2階 委員会室

<要望事項>

- ①「子ども支援に関する関係機関・団体等連絡会議」の開催
- ②滋賀の実態に目を向けた障がい者（児）福祉の充実
- ③障害があっても、ふるさと滋賀で住み続けられるために

(2) 社会福祉士の養成支援

イ 社会福祉士養成支援委員会

①全国統一模擬試験の実施

②社会福祉士実習指導者講習会の運営

日程：2016年9月24日（土） 8:45～17:00

9月25日（日） 8:45～17:00

会場：滋賀県立長寿社会福祉センター2階 第1研修室

受講者：21名

③社会福祉士国家試験対策講座の実施

日程	曜日	教室	I 10:00～11:00	II 11:10～12:10	III 13:10～14:10	IV 14:20～15:20	V 15:30～16:30
8/20	土	長寿C 第1教室	低所得者に対する 支援と生活保護制 大岡紳浩	低所得者に対する 支援と生活保護制 大岡紳浩	社 会 保 障 市 川 忠 稔	社 会 保 障 市 川 忠 稔	
9/10	土	長寿C 第2研 修室	現 代 社 会 と 福 祉 口 村 淳	現 代 社 会 と 福 祉 口 村 淳	福 祉 サ ー ビ ス の 組 織 と 経 営 澤 和 清	福 祉 行 財 政 と 福 祉 計 画 澤 和 清	

9/17	土	長寿C 第2研 修室	児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度 岡本芳也	児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度 岡本芳也	更生保護制度 森嶋友里子	社会理論と 社会システム 安澤郁子	
10/1	土	全国統一模擬試験(コミュニティセンターやす 会議室1)					
10/8	土	コミセ んやす 研修 室2			相談援助の 理論と方法 安田誠人	相談援助の 理論と方法 安田誠人	就労支援サービス 城貴志
10/22	土	未定	相談援助の基盤と 専門職 岡本芳也	相談援助の基盤と 専門職 岡本芳也	障害者に対する支援と 障害者自立支援制 山田宗寛	障害者に対する支援と 障害者自立支援制 山田宗寛	
11/5	土	未定	高齢者に対する支 援と介護保険制度 吉川鐘子	高齢者に対する支 援と介護保険制度 吉川鐘子	心理学理論と 心理的支援 佐藤順子	心理学理論と 心理的支援 佐藤順子	
11/12	土	長寿C 第1 教室			人体の構造と 機能および疾病 平良久美	人体の構造と 機能および疾病 平良久美	保健医療サービス 市川忠稔
11/26	土	長寿C 第1 教室	権利擁護と 成年後見制度 澤和清	権利擁護と 成年後見制度 澤和清	社会調査の基礎 澤和清	地域福祉の 理論と方法 山内克任	地域福祉の 理論と方法 山内克任

※都合により、時間割が変更される場合があります。変更がある場合は1週間前までに講座でご連絡いたします。

④実習指導者養成研修フォローアップ研修の開催

6月27日(土) 中止

⑤社会福祉士養成支援委員会の開催

6月2日(火) フェリエ南草津

8月31日(月) くさつまづくりセンター

(3) 介護・福祉従事者メンタルヘルス相談事業

高齢化の一層の進展に伴う介護サービスの利用増が進むなか、福祉介護職員の確保・定着が求められているが、他の業種に比べ離職率が高くなっており、その離職理由の上位を事業者や職場の人間関係に起因することから離職防止に向けた取り組みが急務になっている。このようなことから、福祉介護従事者を対象とした「なんでも相談事業」を次の通り実施した。

- ① 専用電話による相談→毎週火・木曜日(10時～17時)に実施した。
- ② メールによる相談→メール送信日から翌5日以内に回答した。
- ③ 出前講座及び出前相談の実施→今年度は8事業所で実施し、参加者は延べ131名。

【クレーム対応】

- ・特別養護老人ホームヴィラ十二坊 2016年8月26日実施 参加者28名
- ・長浜市社協ほのぼのヘルパーステーション 2017年1月10日実施 参加者10名

【職場の人間関係】

- ・社会福祉法人友愛 2016年10月24日実施 参加者13名
- ・シルバーの森夕照苑 2017年1月17日実施 参加者22名

【やりがいを妨げる職場の課題】

- ・東近江社協永源寺事務所 2016年12月5日実施 参加者22名

【利用者への権利擁護の視点】

- ・花まるデイサービス 2016年12月18日実施 参加者6名
- ・有料老人ホームコンサルテ瀬田 2017年2月23日実施 参加者20名

その他(記録の書き方、アセスメントの視点)】

- ・有料老人ホームコンサルテ瀬田 2016年11月24日実施 参加者10名

(4) 「滋賀の縁創実践センター」とのコラボレーションの推進

2014年9月に、民間福祉関係者が分野や立場を超えてつながり、福祉制度のはざままで支援が届きにくい人々の声を聴き、地域の方々とともに、社会とつながっていない人々の縁を紡ぎなおし、誰もが自分らしくいきいきと地域で暮らすことを支えるしくみと実践を県下にくまなくつくっていくことを目指し、「滋賀の縁創造実践センター」が開設されました。

本会は、「滋賀の縁創造実践センター」の理事として参画するとともに、専門職団体として積極的にコラボレーションを推進します。

【滋賀の縁創造実践センターの「気づきシート」小委員会活動の協働推進】

—気づきシートを活用した支援者の力量アップ支援—

【2016年度】

「気づきシート」に記入された課題を整理、分析し、「滋賀の縁塾」で事例研究を進めるとともに、必要に応じて小委員会に取り組み課題として持ち込み、新たな活動に展開されるようコーディネートを行う。

また、「気づきシート」の書き方講座を入口とした学習会を各地域で実施することを通して、多職種連携のためのチームづくりと課題解決のためのネットワークづくりを推進した。

① 「気づきシート」の整理・分析

・随時

② 「気づきシート書き方講座」の開催

・毎月1回、県内の各圏域・市町で書き方講座を開催。

【収益事業】

1. 社会福祉事業のサービス評価

(1) 認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきた。2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動している。2009年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行った。

直近では、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることにした。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

① 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

2016年度は5件の外部評価調査依頼があった。

(1)GH笑楽 2016年7月13日調査 (2)桐生園GH 2016年12月1日調査 (3)南郷GHほたる 2017年1月25日調査 (4)GH檀那木 2017年2月10日調査 (5)GHまごころ 2017年2月28日調査

② 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

- ☆ 第三者評価委員会の開催 年6回（奇数月の第3土曜日）
- ☆ 第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施
- ☆ 県主催の外部評価調査員養成研修 3名受講
- ☆ 県主催の外部評価調査員フォローアップ研修 8名受講
- ☆ 県主催の第三者評価調査員養成研修 2名受講

③ 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ☆ 新規事業所に対する活動
県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送する。
- ☆ 既存事業所に対する活動
過去に評価した事業所、2年となった事業所、人脈のある事業所等を重点的に行う。
今年は3事業所から受託した。
- ☆ 新規に受託した事業所に対するPR活動
初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。

○第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
開催回数	1回	4回	0回	6回	6回	6回	6回	6回
件数	4件	13件	7件	9件	11件	12件	12件	5件

【その他の事業】（相互扶助等事業）

1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

（1）生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要がある。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することになった。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施した。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行った。なお、基礎研修講師および、ファシリテーターとして41名（年間延べ講師39名、ファシリテーター50名が研修にかかわった。）

なお、滋賀県として会4項目を基本的な考え方として研修を行うこととした。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場（講師となって自らの業務を発信する）とする
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

○生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議）の開催

- 5月7日（土）長寿福祉センター
- 7月19日（火）まちの相談室よりそい
- 9月26日（月）まちの相談室よりそい

（2）会員研修の実施

- ①新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

集合研修1：日時 6月18日(土)
 場所 栗東市芸術文化会館 さきら
 内容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、社会福祉士の専門性
 受講者数 42名

集合研修2：日時 9月24日(土)
 場所 滋賀県立長寿社会福祉センター
 内容 社会福祉士の専門性の理解、倫理綱領・行動規範、倫理綱領の現場適用

② 基礎研修Ⅱの実施 受講者数 8名

開催日	時間	科目
2016年5月21日(土)	9:30~16:30	・相談援助の視座と展開過程(オリエンテーションを含む) 講師:澤 和清 ・実践のためのアプローチ 講師:上村 文子
2016年6月18日(土)	9:30~19:30	・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師:柴田 有加里 ・集合研修1「実践事例演習」 講師:松村 輪香子
2016年7月9日(土)	9:30~16:50	・社会資源の理解と社会資源開発 講師:中原 一隆 ・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師:井上 良信
2016年8月6日(土)	9:30~16:50	・地域における福祉政策と福祉計画 講師:奥村 昭 ・社会福祉調査の方法と実際 講師:杉本 重剛
2016年9月3日(土)	9:30~16:50	・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイザー体験 講師:海部 久美
2016年10月1日(土)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅰ 講師:市川忠稔 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点 講師:竹村 直人
2016年11月5日(土)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅱ 講師:小川 学 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点 講師:村長 真理
2016年12月3日(土)	9:30~19:30	・実践研修の意義と方法 講師:乾 昌典 ・実践研修のための記録 講師:大原 薫男 ・実践評価の方法 講師:磯崎圭一郎
2017年1月21日(土)	9:30~16:50	・実践研究発表の方法 講師:口村 淳

③基礎研修Ⅲの実施 受講者数 9名

開催日	時間	科目
2016年5月21日(土)	9:30~16:50	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み 講師：高田 佐介 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンス 講師：島田 一子
2016年6月18日(土)	9:30~15:50	・事例研究のための事例のまとめ方 講師：磯崎 圭一郎 ・実践事例研修Ⅱ 講師：尾崎 史
2016年7月9日(土)	9:30~15:50	・模擬事例検討会 講師：尾崎 史
2016年8月6日(土)	9:30~16:50	意思決定の支援 講師：桐高 とよみ
2016年9月3日(土)	9:30~16:20	・地域における福祉活動 講師：奥村 昭
2016年10月1日(土)	9:30~16:50	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義会議運営 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント 講師：高田 佐介
2016年11月5日(土)	9:30~19:30	・リスクマネジメント、苦情解決システム 講師：高田 佐介 ・事例研究（苦情・リスク・サービス評価） 講師：高田 佐介
2016年12月3日(土)	9:30~19:30	・スーパービジョンのモデルセッション 講師：海部 久美 ・新人教育プログラム 講師：松井 邦夫
2017年1月21日(土)	9:30~16:50	・地域の課題解決に向けた具体策について 講師：高田 佐介

④全国研修担当者会議への参加

9月24日~25日(東京) 2名参加

⑤近畿ブロックとの調整

近畿ブロック研修委員会への参加

4月10日、7月9日、11月5日、2月12日

⑥近畿ブロック奈良大会分科会(自由企画)の準備

8月19日(金) 自由企画テーマ、形式、趣旨の検討

10月21日(金) シンポジウム打ち合わせ会

11月16日(水) シンポジウム打ち合わせ会

1月25日(水) シンポジウム打ち合わせ会

⑦近畿ブロック奈良大会分科会発表査読会及び審査会への参加

○査読会

2016年11月6日(日) 大阪社会福祉会館

出席者 口村淳、奥村昭

○審査会

2017年2月11日(土) 奈良県文化会館

出席者 奥村昭

(3) 高齢者生活支援委員会

社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

ア ブロック活動における研修実施の推進・支援

各地域ブロックにおける研修活動を支援し、経費の助成や企画運営に関する助言等を行った。

イ 会員によるグループ研修実施の推進・支援

入会年数別や職種別などあらゆるカテゴリーによる本会会員によるグループ研修活動の可能性を検討し、経費の助成や企画運営に関する助言などの開催支援を行う。

2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

(1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

①分野は違ってもソーシャルワーカーとしては価値・倫理は共通していることから、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会三団体連絡会を開催し、ソーシャルワーカー団体の連携を図るとともに、それぞれの研修会等行事に、それぞれの会員以外でも参加できるよう調整を行った。

②三団体合同基礎研修会の実施。

日時：2016年9月11日 9:30~12:00

場所：コミュニティーセンター野洲

内容：三団体実践報交流会

「知ろう・聞こう・つながろう2~ソーシャルワーカーとして大切にしていること~」

実践報告者 大津市やまびこ総合支援センター 松岡啓太氏

滋賀県立成人病センター 岡村理氏

大津・高島子ども家庭相談センター 岩田俊幸氏

大津市社会福祉協議会 葛城朋子氏

(2) ソーシャルワーカーデー2016inしが

2016年7月23日 9:30開場

講演：「ソーシャルワーカーはクリエイター!？」~地域や家族で子供の貧困に関わる~

講師：幸重社会福祉士事務所代表 幸重 忠孝先生

(3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

○イナズマロックフェスでの出店(介護福祉士会との協力)

(本会へ推薦依頼があり、理事会、理事・監事連絡会議で承認等を行ったもの)

○介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

2016年5月13日 平成28年度 しが介護の職場合同入職式

2016年10月6日 平成28年度 第1回連絡協議会会議

3. 広報委員会の運営

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズをもとに以下の事業を行った。

① 広報紙(は一と・めーる)の発行

会員への当会の活動報告と、幅広く県民に対する当会の活動の普及・啓発を行なうため、最新の福祉に関する情報も含めた広報紙は一とめーるを発行・発送する。年度内に8号の発行を予定している。

② ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、会員をはじめ県民向けの当会からの情報提供や情報公開という視点で県民にとって関心の高い福祉情報を提供できるよう検討を重ねながら管理運営を行った。研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができた。滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体と合同のポータルサイトを通して、各会にアクセスできるようにし、会員の活動や元気に働く福祉士の姿をクローズアップし、情報提供、理解・啓発を図るための活動を行った。ブログ「滋賀県社会福祉士のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営の充実を図った。

③ 本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

本会の紹介パンフレットについては、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会3団体の事業やソーシャルワーカーデー、介護の日啓発イベント、県民向け公開講座等研修の機会を通して会員、その他県民に幅広く配布した。

④ 広報委員会の開催・委員の活動

委員会の堤 洋三理事・城 貴志会員・松井 邦夫理事が委員会を担当し、各委員が各種活動を行う際に記事やレポートの呼びかけを行いながら適宜の委員会を行った。会議の議題によって本会会員や関係者にも参加をいただいた。湖南ブロック世話人や災害支援委員会・特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センター、生涯研修委員等の会場をお借りし開催し取材協力などを含めて進めることができた。

4月13日(水) 地域特養 きいと 地域交流スペース(堤 洋三理事・松井 邦夫理事)

5月11日(水) 社会就労事業振興センター(城 貴志会員・松 邦夫理事)

6月13日(月) 特別養護老人ホーム清水苑(堤 洋三理事・松井 邦夫理事)

7月21日(木) 社会就労事業振興センター(城 貴志会員・松井 邦夫理事)

10月10日(月) 湖南省宮の森(河岸寛之理事・城 貴志会員・松井 邦夫理事)

10月26日(水) 理事会承認コミセンやす(堤 洋三理事・河岸寛之理事・松井 邦夫理事)

11月 8日(火) 社会福祉法人 いしづみ会に校正・印刷等依頼

12月12日(月) 事務局通信と共に会員に配布

1月19日(木) オモヤキッチン(城 貴志会員・松井 邦夫理事)

3月27日(月) NPO法人まちの相談室よりそい(堤 洋三理事・河岸寛之理事・松井 邦夫理事)

4. 災害対策支援委員会の運営

県との協定(『大規模災害時の福祉避難所における人的支援に関する協定書』)を基に、会員が災害時に取るべき対応をまとめた「災害時対応ガイドライン」等の策定へ向けて検討を行った。また日本社会福祉士会が開催する災害支援活動者養成研修と滋賀県が主催する災害時における福祉的支援検討会へ委員の派遣を行った。

(1) 委員会の開催

2016年4月13日(水) 地域特養きいと

2016年6月13日（月）特養清水苑

2016年7月14日（木）～7月15日（金）視察研修 東日本大震災復興支援

2017年3月27日（月）NPO よりそい

（2）委員の派遣

①災害支援活動者養成研修

竹村会員

②災害における福祉的支援検討会

河岸会員

5. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行った。

○大津ブロック

4月16日（土）テーマ：社会福祉士の視点から児童虐待を考える

講師：漢 正史氏 氏

場所：浜大津明日都ふれあいプラザ小会議室

7月29日（金）テーマ：成年後見活動事例検討会

場所：浜大津明日都ふれあいプラザ小会議室

11月4日（金）テーマ：累犯障害者への支援のあり方と滋賀県の現状について

講師：柴田有加里 氏

場所：浜大津明日都ふれあいプラザ小会議室

○湖南ブロック

7月21日（木）テーマ：防災・減災、災害支援から見た地域づくり

講師：滋賀県社会福祉士会災害支援委員会 奥村昭氏、森本信吾氏、河岸寛之氏

場所：草津市立サンサンホール

9月15日（木）テーマ：近年、連携の増えた防犯・司法との連携について考えます。これからの社会福祉の役割とは？

講師：滋賀県防犯協会 藤森常務理事

場所：草津市立サンサンホール

11月24日（木）テーマ：外国の人と地域で暮らす、地域で働く

講師：マーチャ・アディワラ・プラウイタ氏（滋賀県社会就労事業振興センター）

場所：草津市立サンサンホール

1月19日（木）テーマ：～新年会～共育ち、福祉を憧れの職業にするために

場所：オモヤキッチン

3月9日（木）テーマ：社会福祉法人改革について

～求められる地域における取組とは～

講師：特別養護老人ホームヴィラ十二坊施設長 森本信吾氏

場所：草津市立サンサンホール

○甲賀ブロック

5月19日（木）テーマ：平成28年度研修計画と意見交換

場所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室

7月21日（木）テーマ：在宅重度障害者の日中活動の現状と課題

講師：さわらび福祉会 中野氏

9月15日（木）テーマ：総合事業（介護予防）の概要について

講師：甲賀市役所長寿福祉課 地域包括ケア推進室より

11月17日（木）テーマ：成年後見制度の現状と課題

講師：甲賀・湖南成年後見センターぱんじー 桐高氏

1月19日（木）テーマ：滋賀県社会福祉士会活動中間報告

講師：甲賀市社会福祉協議会 木村氏 近江和順会 河岸氏

3月16日（木）テーマ：障がい者虐待防止法施行後の滋賀県の現状と課題

講師：椎の木会 太田氏

○東近江ブロック

6月21日（火）テーマ：「認知症ケアの最前線 根拠に基づく実践と啓発について」

場所：滋賀県男女共同参画センター2階研修室B

講師：江谷 政芳 氏

9月28日（水）テーマ：「認知症の人の気持ちと理解」

場所：滋賀県男女共同参画センター2階研修室A

講師：小原 日出美 氏

2017年3月6日（月）テーマ：介護サービスと成年後見制度～こんなときどうする？～

場所：地域密着型特養きいと

講師：町田一平 氏（公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート滋賀支部）

○湖西ブロック

9月10日（土）テーマ：「養介護施設従事者による高齢者虐待防止について」

講師：大津市社会福祉事業団榛原の里 足立 義弘 氏

会場：高島市安曇川公民館 団体活動室

○湖北ブロック

1月27日（金）テーマ：「相談を傷つけない、相談員も傷つかない、話の聴き方」

場所：湖北会あそしあ介護室

講師：おうみ犯罪被害者支援センター 宮脇宏司氏

6. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組んだ。

①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所移転・整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、目標額は400万円を設定し2012年度から開始し、本会20周年記念事業の一環として取り組んでいる。

基金残高 1,732,822 円（2017年3月31日現在）

②成年後見体制整備基金

ばあとなあの活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ばあとなあの活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てた。

基金残高 5,470,772 円（2017年3月31日現在）

7. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めていく。

①事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行うことができた。

②公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めた。

③諸規定の改正と規程集の発行

必要な諸規定の改正は随時行ったが規程集の発行には至っていない。

8. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

①総会への参画

通常総会 6月18日(土) 鉄鋼会館
奥村副会長出席

②各種委員会活動への参画

ア都道府県会長会議

イ全国生涯研修委員研修会議

木村理事、磯崎会員が出席

③中央研修等への会員派遣

ア2016年度災害支援活動者養成研修 12月3日～4日(東京) 竹村会員(再掲)
イ2016年度第6期虐待対応専門研修 前期12月3日～4日、後期2月18日～19日
足立会員、澤会員出席

9. 総会・理事会・理事連絡会議の開催

(1) 総会の開催

①6月12日(土)

出席者：338名(出席38名・委任状38名・書面表決者262名)

報告事項 2015年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について

第1号議案 事務所移転に伴う定款変更について

第2号議案 2015年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について

第3号議決 役員を選任について

連絡事項 年間事業計画について

研修会「保健師としての活動について」 講師 県健康医療福祉部 村井晋平 氏

(2) 理事会の開催

①4月27日(水)

第1号議案 定期総会の開催について

第2号議案 謝金支払細則の改正について

協議事項

(1) 役員選挙について

(2) 新規事業について

(3) 基礎研修の申込状況と二次募集の検討について

(4) 委員の推薦について

(5) 講演名義の承認について

(6) スーパービジョン研修の受講者推薦について

(7) 2015年度業務報告について

②5月30日(水)

第1号議案 2015年度事業報告について

第2号議案 2015年度決算について

第3号議案 監事の選出について

第4号議案 総会、研修会の開催について

第5号議案 定款変更について

第6号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 熊本地震の被災地支援活動の対応について
- (2) 委員等の推薦について
- (3) ウェルカムパーティーについて
- (4) ソーシャルワーカーデイについて
- (5) 3団体合同研修会について
- (6) 遺言執行者の就職通知について

③6月22日(水)

第1号議案 遺言の承認について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) ソーシャルワーカーデーについて
- (2) 滋賀県に対する施策・予算等要望について
- (3) 理事の担当について
- (4) 候補者及び委員の推薦について
- (5) 事務局体制について

④7月27日(水)

第1号議案 遺贈の承認について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 来年度の事務局体制について
- (2) イメージアップ事業について
- (3) 補正予算について
- (4) 候補者及び委員の推薦について
- (5) マイナンバー制度への対応について

協議事項

- (1) 全国生涯研修委員会議の出席者について
- (2) 近プロ部分科会自由企画のテーマについて
- (3) 無戸籍者連絡協議会について

⑤8月24日(水)

第1号議案 補正予算について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 近畿ブロック大会について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 障がい者の地域生活支援研修について

⑥9月28日(水)

協議事項

- (1) 近畿ブロック大会について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 後援名義の使用承認について
- (4) 災害支援活動者養成研修及び研修移管について

⑦10月26日(水)

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 業務報告について
- (2) 近畿ブロック大会について
- (3) 各団体からの参加案内について

- (4) 後援名義の使用承認について
- (5) 事務所の事務機器について

⑧ 11月24日(水)

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 業務報告について
- (2) 近畿ブロック大会について
- (3) 2016補正予算について
- (4) 委員の推薦及び後援名義について
- (5) 介護支援専門員実務研修の講師依頼について
- (6) プロジェクターの購入について
- (7) 滋賀県健康福祉サービス第三者評価機関について
- (8) 就業規則について

⑨ 12月21日(水)

第1号議案 業務報告について

第2号議案 就業規則について

協議事項

- (1) 2017年度の研修について
- (2) プロジェクターの購入について
- (3) 2016年度自殺予防ソーシャルワーカー研修・説明会について
- (4) 要約筆記養成講座の講師依頼について
- (5) イオブログの終了に伴う今後の対応について

⑩ 1月25日(水)

第1号議案 就業規則について

協議事項

- (1) 臨時総会について
- (2) 2017年度事業計画案について
- (3) 2017年度予算案について
- (4) 来年度の基礎研修について
- (5) 第三者評価委事業について
- (6) 法テラスからの依頼について
- (7) 草津市教育委員会からの依頼について
- (8) 来年度の行事予定について
- (9) 来年度の事務局体制について

⑪ 2月22日(水)

第1号議案 2017年度事業計画案について

第2号議案 2017年度予算案について

第3号議案 臨時総会について

第4号議案 就業規則について

協議事項

- (1) 来年度の行事予定について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 来年度の事務局体制について
- (4) 就業規則について

⑫ 3月22日(水)

第1号議案 就業規則について

第2号議案 事務局の組織及び運営に関する規則について

第3号議案 成年後見体制整備基金の取り崩しについて

協議事項

- (1) 定期総会の開催について
- (2) 臨時総会の対応について

- (3) 近畿ブロック会議について
- (4) 来年度の基礎研修について